

# ★ ひかり・いろ・カタチ

冬の間、冷たい地面の下に隠れていた芽がいつせいに芽吹き、

虫たちや動物たちも動き回るようになる春。

灰色でモノクロームな印象だった冬から一転して、

色とりどりの世界が目の前に広がります。

何百万色もあると言われている「色」は、わたしたちの世界を文字通り色づけて、喜びや楽しさ、悲しさ、驚きなどといった感情をあたえてくれます。

「ひかり」と「カタチ」は、色と一緒に、

さらにわたしたちの世界を賑やかにしています。

2021年の春、愛知県児童総合センターでは

「ひかり」と「いろ」そして「カタチ」をテーマにしたあそびをします。

まわりをよくみると、おもいがけないほどたくさんの

「いろ」や「カタチ」があることに気づきます。

しかも、「ひかり」によって、同じものでも色やカタチを変えるのです!!

そんな「ひかり・いろ・カタチ」の楽しさ、不思議さを感じるあそびを用意して、

みなさんを待っています!

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。

## 愛知県児童総合センター



〒480-1342  
愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1  
TEL 0561-63-1110  
E-mail info@acc-aichi.org  
https://www.acc-aichi.org/

開館時間=9:00 - 17:00  
入場料=中学生以下無料、その他 300円

3月の休館日=1、8、15、22日  
4月の休館日=12、19、26日  
5月の休館日=6、10、17、24、31日  
6月の休館日=7、14、21、28日

公共交通 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から 車で… 東名高速・日進JCT 経由名古屋瀬戸道路長久手ICから 機関で… リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車 足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北駐車場利用)

# 「ひかり・いろ・カタチ」 2021.3/20(土・祝) - 4/11(日)

愛知県児童総合センター(愛・地球博記念公園内)

時間=10:00-16:00(開館時間は9:00-17:00) 休館日=3/22

入場料=中学生以下無料、その他 300円

主催=愛知県児童総合センター(公益財団法人愛知公園協会)

子どもとおとな、ドキドキ発見!

# ACC

Aichi Children's Center

# レター

News Letter vol. 39  
2021 春

春季特別企画

「ひかり・いろ・カタチ」

特集 |

元気スイッチ on!!

あつまらない?! あいちのじどうかん

~それでも、わたしたちはあそびたい!!~

オンライン開催

特集 |

with コロナ時代の

愛知県児童総合センター

子育てのおはなし 第39話

募集とお知らせ



# 元気スイッチ on!! あつまらない?! あいちのじどうかん ～それでも、わたしたちはあそびたい!!～ オンライン開催



2020年の春、新型コロナウイルス感染防止のため、愛知県内のほとんどの児童館が臨時休館になりました。夏ごろからは児童館の活動も少しずつ再開しましたが、この臨時休館していた時期に、何ができて何ができなかったかを振り返る場とするため、毎年秋に開催している愛知県内の児童館・児童クラブ職員の研究・交流大会「元気スイッチ on!! あつまれ!あいちのじどうかん」をzoomによるオンラインで開催しました。大会のタイトルは例年の「あつまれ!」から「あつまらない?!」となり、コロナ禍の子どもたちへの想いを込め「～それでも、わたしたちはあそびたい!!～」というサブタイトルを実行委員会で作りました。約200名の児童館職員がリモートで繋がり、これからのwithコロナの時代に児童館はどんなことをすべきか考えました。

## まなびば

「コロナ禍でも活動中!こんなことやっよ、児童館」と題し、県内の児童館を代表して4館が事例発表しました。外出自粛中のYouTubeによる工作動画配信、地域の子どもたちへあそびや食材を届けつつ子どもたちの声を聞き課題解決に取り組む活動、オンラインでの子育てサロンや子ども祭りの開催、館内環境やイベントの感染防止対策など、試行錯誤しながら前向きに活動している児童館の様子を聞き、視聴参加者は興味深く受けとめていました。また、zoomのグループ分け機能で参加者3～4名ごとのグループディスカッションも行い、それぞれの地域の状況や対策方法などを話しながら課題や想いをシェアしました。



初めての試みということもあり参加者・実行委員ともにzoomの操作などに戸惑いつつも、実際には集えないコロナ禍において仲間と情報共有できる有意義な時間になりました。

## あそびば

今年は、コロナ禍の中で児童厚生員のみなさんにあそびを伝える方法として、「児童館イチオシのあそびの動画を作成して発信」と「リモートで一緒に遊ぶ」ということを行いました。ストーリーや段ボール、新聞紙などの身近な素材を使った工作やゲーム、簡単に準備ができるあそびなど、楽しめるあそびの動画がたくさんありました。また、zoomを使ったワークショップでは100名ほどの仲間とリモートで繋がりがながら一緒に音楽を作ったり、新聞で遊んだり、心と体を使うなど、いろいろなあそびをしました。パソコンやタブレットなどを使って、遠くにいる人たちと繋がるという体験や新しい取り組みへのきっかけとなる良い機会となりました。



# with コロナ時代の愛知県児童総合センター

この一年は、ありふれた日常と何気ない日々の瞬間がとてもいとおしく感じられるものとなりました。愛知県児童総合センターも3月から5月半ばまで休館し、子どもたちの声が聞こえないポカンとした館内は、どこか知らない場所のようにも思えました。休館中から始めていた館内の清掃や修理、あそびのプログラムの動画作成と配信、館内表示の見直しなど、子どもたちを迎えるための環境づくりをすることで私たちスタッフは気持ちをつなげていました。そして今、こうしてみなさまをお迎えできることをとてもうれしく、幸せに感じています。あそびのプログラムも、まだまだ注意して状況に合わせてながら実施していますが、少しでも楽しく、そして安全なあそびの環境をこれからもつくっていきたくと思っています。



## 館内の様子

来館者のみなさんが安心して遊べる場をつくるため、様々な取り組みを行っています。館内の消毒作業を行い、休憩場所を広げて机・椅子を設置しました。検温機も設置し、来館時に検温のご協力をお願いしています。館内は広く全ては行き届かないかもしれませんがスタッフ一同気にかけて対策に取り組んでいます。



追加した休憩コーナー



入館時の検温



館内消毒作業

## あそびのスタジオ

あそびのスタジオでは、再開後6月下旬より少しずつあそびを復活させてきました。現在では「さがす」あそびと「つくる」あそびを行なっています。説明は映像に変えて、席数も減らし、道具と机は消毒を行い、感染防止対策に努めています。



非接触のあそびのゴール



映像で説明をしています



## あのねっとのへや

入室組数限定・おもちゃ貸出制で、親子でゆったりと遊べるようにしました。大人と子どもが座卓を囲んで木のおもちゃでじっくりと遊んでいます。おうちではない場所でも親子が安心して過ごせる部屋にしたいと思っています。



家族10組まで遊べるようになっていきます



カウンターでおもちゃを貸出しています



返却されたおもちゃは、消毒しています

## あのねっとクラブ・トコトコプログラム

親子であそぶプログラムでは、例年よりも参加組数を減らし、検温や連絡先を確認した上で実施しています。みんなではっぱや紙、えのぐまみれにしたりして大人も子どもも思いきり遊んでいます。子どもの成長に欠かすことのできない「あそび」を親子でしっかりと楽しめる時間になるよう、企画・環境設定に努めています。



はっぱに埋もれたり撒いたりしました



例年の内容を変更してウクレレでも遊びました



他の親子との交流が嬉しかったとの声も

## 子育てのおはなし

臨床心理士  
後藤 かをり

## 第39話

## 安心したい

2歳半の子のお母さんとお会いしました。その子はまだまだあまり言葉を話しません。お母さんは言葉を使わせようと「オチャ」と言うまであげなかったり、「オ」「チャ」と1音ずつ言わせたりしているとのこと。言葉を話すようになって、早く安心したいと言われる。言葉というのはコミュニケーションですから、伝えたいという気持ち、楽しみの中で覚えていってほしい、言葉に関して緊張をさせるのは望ましくはないなどとお話ししながら、でも早く安心したいという気持ちはわかるなあと思いました。子どもがもじもじして他の子の中に入

れなかった時、とても不安になって、追い立ててみたことや、ありんこを踏みつぶしているのを見たとき、この子が非行に走らないことを誰か保証してくれ!と思ったことを思い出します。子どもを育てるときには、不安から「早く安心したい」と思うことがよくあります。それはとても分かるのですが、不安・を・・・抱きながら、少し横においていてほしいなと心から思います。

## 募集とお知らせ

### お父さん応援プログラム「アナログカフェ」

毎月第3日曜日だけオープンする「アナログカフェ」は、お父さんと子どもがボードゲームやカードゲームなど、アナログなあそびを楽しむことができる空間です。その間、お母さんはのんびり館内で過ごしてください。コロナ禍の中、隣との間隔をあける、テーブル等の消毒など、感染防止対策を行いながら毎月オープンしています。

日時：毎月第3日曜日 13:30～15:30  
随時参加  
場所：2F「あそびステーション」  
対象：小学生とその父親



### トコトコプログラム

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとお母さんやお父さんが「一緒に」楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。

3/3(水) ヘンシンであそぶ  
3/10(水) つみきであそぶ  
3/17(水) えのぐであそぶ

対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその親  
定員：10組程度

※定員を減らし、検温・手指消毒をするなど感染防止対策をしています。各回のプログラムの内容・時間受付方法はHPをご確認ください。また、LINEでもお知らせを配信しています。



公式LINEアカウント



### 移動児童館・ゆめたま号

愛知県児童総合センターのあそびとスタッフを「ゆめたま号」に乗せて、県内の児童館などに運び、現地のスタッフとともに地域の子ども・大人と遊ぶプログラムを提案します。

※令和3年度の案内と募集は県内市町村の児童福祉担当課を通じて4月頃お知らせする予定です。



※プログラムは予告なく変更する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。